



# 株式会社ナカノ

業種	サービス業	事業所所在地	東京都中野区	資本金	1,000千円
				従業員数	2名

	被承継者（左）		
	上原 慶	37歳	※承継時
	承継者（右）		
	深井 弘之	42歳	※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2017年	10月	その他の親族外（知人）	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
レンタルスペース経営		・既存商品・サービスの売上高の拡大	設備の老朽化と新規顧客の獲得

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の	1年前	被承継者と承継者で話したこと
承継者の地方移住	主には業務の引き継ぎについて。	個人的に信頼できる方からの事業承継でしたが、未経験の事業の引き継ぎのため不安は大きかったです。イベント事業なのでまずは1年の流れを掴むことに精一杯でした。不安な部分はヒヤリングをおこない実践し身体で覚える事で少しずつ解決していくことができました。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	承継が決まってから実施まで半年ほど短い期間で準備したため、ご報告をして回るのが精一杯でした。	十分に収益のでている事業でしたので、それが無事に継続いただけるか。

**これに一番苦労した！**

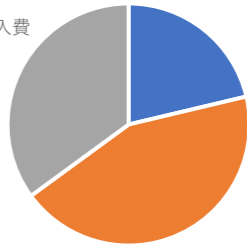
各所の名義変更や契約の更新など、想定した以上の事務手続きがありました。承継者が加入していた地域団体は、被承継者の判断で継続か退会かを決めて実行。承継者名義で保有していた不動産の売却。取引先金融機関での融資や口座、テナント賃貸の名義変更などあげていけばキリがないほど。思っていたよりもやる事が多く、承継後1年半ほど経ちますが、影響のない細かいところはまだ作業が残っています。

事業承継について相談したこと		
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容	
税理士・税理士法人	名義の変更など税務上問題がないかを確認いただき、会社の運営的にどうした方がスムーズな承継となるかをご助言いただきました。	
いつから相談？		
承継実行の		0.5 年前
相談のきっかけ		
以前から取引やつきあいあり		

## 新たな取組の標題

### キッチン付きレンタルスペースを活用した地方物産展招致のPR活動

新たな取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> <li>●開店当初は利用者数、売上ともに順調に伸びてきたが、近年同業他社の増加やレンタルスペースポータルサイトを経由した新規客の増加によって、利用者数の減少およびポータルサイトへの手数料支払いによる利益減少が問題となり、新たに直接契約できる顧客の確保が課題であった。</li> <li>●そこで、キッチン付きレンタルスペースならではの地方物産展をパッケージ化し、地域の商工会議所や観光協会にDMやウェブを活用してプロモーションをかけ、地域間交流の場を提供する中で双方にメリットのある事業を展開する。</li> <li>●そのため、開店から10年以上経過して劣化した設備を入れ替え、店舗の内装工事、外装のテント改装工事を行い、チラシ、ホームページを作成した。</li> <li>●他店にはないソフトの提供により、単なる販売会だけでは終わらない地方と首都圏を結ぶ物産展をサポートするレンタルスペース、地域に根ざした店舗への成長を目指す。</li> </ul>	
	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
新規事業としては地域への貢献はこれからですが、地域に根ざした店舗作りという原点に立ち戻るきっかけが得られました。地域の方々へ声をかけて地域密着のイベントを増やすことで、今いる場所の魅力発信に少しですが貢献できているかと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■店舗等借入費</li> <li>■設備費</li> <li>■外注費</li> </ul> 
<b>経費の主な使い道</b> 店舗等借入費 設備費（店舗内装工事費、店舗外装テント張替工事費） 外注費（ホームページ、チラシ、DM制作費、DM発送費）	
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容	
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案 <input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成 <input type="checkbox"/> 補助事業の実施	
顧問税理士事務所からのサポートということもあり、今後の事業計画や売上目標の数値設定でご助言をいただきました。	

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	今回の事業ではHP作成とチラシの作成・発送を宣伝活動としましたが、今後は対象となる事業者様に向けてのダイレクトメールやSNS広告等に宣伝手法を拡大し売上の増加を図ります。
売上高	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
事業の魅力と、日々の小さな気づきを先代からひとつでも多く聞き出す事が重要かと思えます。「分からない」ことが当たり前で遠慮なく聞ける関係を築くのが継承の一番の答えかと思えます。	承継後にどこまで関わって良いかの線引きがとても難しいですが、お互いに遠慮なく相談できる環境を作ることが重要だと思います。家族ではない方への承継ということもあり、当社もお互いに遠慮していましたが、その分損をした（利益を逃した）な、というのが今の実感です。必要なところでは遠慮をしないことが重要だと思います。